

科目名	日本語		英文表記	Japanese		2016.3.20	
科目コード	4012						
教員名: 玉城あゆみ 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			4年	必	学修	2単位	講義
科目目標 【MCC目標】	<p>技術者として十分な日本語の語彙・表現を身につけ、総合的なコミュニケーション能力を高める。 【Ⅲ-A】読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な発想・思考力、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーション能力、および主体的な表現意欲を培う。 【Ⅶ-A】相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。 【Ⅶ-B】集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。 【Ⅶ-D】現状と目標を把握し、その中に課題を見つけ、課題の因果関係や優先度を理解し、そこから主要な原因を見出そうと努力し、解決行動の提案ができる。</p>						
総合評価	前期評価を、定期試験(中間・期末)の平均(80%)+課題(20%)で行い、60%以上を合格とする。						
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	80%	① 日本語による文章の構成を理解し、論理的に考察することができる。また、そのトピックについて意見交換ができる。	定期試験および演習等の課題で評価する。	論文・記事を正確に読み取り、内容についてディスカッションできる。	論文・記事を読み取り、自分なりの考えが述べられる。	論文・記事の内容が大まかに理解でき、内容について話せる。	
	20%	② 日本語能力試験N1相当の語彙・表現を習得し、使えるようになる。	定期試験および演習等の課題で評価する。	N1レベルの語彙・表現を理解し、適切に使うことができる。	N1レベルの語彙・表現が理解でき、使おうとすることができる。	N1レベルの語彙・表現がある程度理解できる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○	◎		○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		80	0	0	20	100	
基礎的理解	①、②	60				60	
応用力(実践・専門・融合)	①、②	20			10	30	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①					0	
主体的・継続的学修意欲	②				10	10	
授業概要、方針、履修上の注意	日本語で書かれたさまざまな文章を読むことを通して学習活動に必要なコミュニケーション能力を育成し、日本語能力試験N1相当の力をつける。授業では主に読解演習を行って読みのスキル向上をめざし、内容に関するディスカッションで考察を深める。また、毎回日本語能力試験N1相当の漢字・語彙の課題も課し、その提出状況も評価する。						
教科書・教材	『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』福岡理恵子ほか(スリーエーネットワーク) 『日本語能力試験対策 日本語総まとめN1漢字』(アスク) 『日本語パワードリルN1文字・語彙』(アスク)						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	クラスオリエンテーション	2	履修内容確認、プレースメントテスト(NT模試でレベルチェック)	読解課題	
2	文章の仕組みを理解する	2	①対比	読解課題	
3	文章の仕組みを理解する	2	②言い換え	読解課題	
4	文章の仕組みを理解する	2	③比喩	読解課題	
5	文章の仕組みを理解する	2	④疑問提示文	読解課題	
6	文章の細かい部分を読み取る	2	⑤指示語を問う	読解課題	
7	文章の細かい部分を読み取る	2	⑥「誰が」「何が」などを問う	読解課題	
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2		復習	
9	文章の細かい部分を読み取る	2	⑦下線部の意味を問う	読解課題	
10	文章の細かい部分を読み取る	2	⑧理由を問う	読解課題	
11	文章の細かい部分を読み取る	2	⑨例を問う	読解課題	
12	全体をつかむ	2	⑩全体的な内容を尋ねる問い	読解課題	
13	実践問題	2	⑪内容理解(中文)	読解課題	
14	実践問題	2	⑫内容理解(長文)	読解課題	
15	実践問題	2	⑬内容理解(長文)	読解課題	
期末	期末試験	[2]			
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	読解の演習課題			1時間×15回	
②	語彙・表現文法の課題			30分×15回	
③					
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)